

学校名	深谷市立岡部小学校
所在地	埼玉県深谷市普濟寺1305
電話	048-585-2023

1 本校の概要

本校は埼玉県北部に位置し、旧岡部町の中心地を含む市街地と農村部の混在する場所にある。豊かな自然環境に恵まれ、家庭・地域との連携を図りながら、「正しく豊かに」を学校教育目標として日々教育実践を行っている。

学校図書館教育においては、児童への図書の貸し出しのほか、図書委員会・学校司書を中心とした本の紹介活動、ボランティアによる読み聞かせ、ブックトークランチ、親子読書などの読書啓発活動を行っている。

2 本校の実践

(1)実践の視点

- ・学校図書館利用の活発化
- ・家庭や地域との連携による読書活動

(2)実践の概要

ア 学校図書館利用の活発化

- ① コスモス読書月間(9月)
もみじ読書月間(11月)

一人一人がしおり型のカードを使用し、コスモス読書月間では読んだページ数をマラソン形式のカードに記入、もみじ読書月間では読んだ本とそのページ数をもみじに記入をしていった。もみじ読書月間ではカードの裏にビンゴの枠も作り、様々なジャンルの本にも親しむことができるようにした。

- ② 図書委員によるおすすめの本の紹介

図書委員が自分で読んだ本の中からおすすめの本をカードに書き、本と共に図書室に展示しておく。



- ③ 「伝記十冊チャレンジ」の取組

図書室などにある伝記の本を十冊読み、カードに記入後、校長先生に提出をすると賞状をもらうことができる。



- ④ 校長室でのブックトークランチ

毎月末に読書冊数の多い児童を校長室に招待し、給食の時間に校長先生と本について話をするブックトークランチを実施している。そこで話題になった本は図書室の掲示などで紹介をしている。

イ 家庭や地域との連携による読書活動

- ① 地域ボランティアによる読み聞かせ

学校応援団の読み聞かせボランティアグループ「しゃぼんだま」による月曜日に朝の時間の読み聞かせを月3回程度実施している。

- ② 親子読書の実施

毎年11月に親子読書として、児童が保護者と読む本を3冊選んで借りる。児童が事前に保護者から借りてきてほしい本を聞いておいたり、家の人が喜ぶような本を探して紹介したりすることで、親子で本を楽しむきっかけとなっている。

3 成果と今後の課題

- (1) 読書月間では、一人一人がカードに書き溜めていくことで意欲をもち取り組むことができ、積極的な読書活動が見られた。しかし、個々により取組に差が見られたという反省もあったため、今後は実施形式も検討していく必要がある。
- (2) 毎週月曜朝のボランティアによる読み聞かせは、児童が楽しみにしている時間である。しかし、ボランティアの人数が少ないため、今後の運営方法を見直していく必要がある。今年度は新型コロナウイルス予防対策のため実施することができなかった「深谷こどもの本の会」の語りを、来年度は実施していきたい。

親子読書は、貸出期間が短いなどの声も聞かれたため、今後は取組の回数を増やしたり、時期を検討したりしていく必要があると思われる。